

特集

平成19年度決算報告

町長・町議選結果

沖繩奄美民間文芸学会喜界島大会

敬老の日各種行事

シマの話題

その1(シバサシ ほか)

その2(子牛セリ市 ほか)

各学校運動会・ひろまれ奉仕の輪

教育委員会のとびら

アリモドキ協議会からお知らせ

第3回奄美ミュージアム

喜界歌壇・戸籍の窓・編集後記

島に咲く花・今月のわんこ

広報

きかい



No. 496

10

平成20年
(2008)

この道は いつかきた道 ふるさとの道



阿 伝



中 間



小野津



蒲 生



上嘉鉄

写真説明

盆休みの帰省客がシマの変貌ぶりに驚いていた。ほんの4、5年でも変わる。ましてや数十年ぶりにふるさとを見れば「隔世の感」というよりも「別世界」と感じるであろう。

約20年前までは各集落内にはたくさんのこみちの小径があった。利便性や防災面から拡幅されたが、今も残る小径には、何ともいえない味わいがある。

皆さんもひまをみつけて、近所の小径を散策してみては。ちいさな宝物が見つかるかもしれないから。



小野津

番外編：東経130度線の道



花良治

平成19年度

喜界町歳入歳出決算

一般会計及び特別会計

町議会平成20年第3回定例会（9月議会）最終本会議が9月5日開催され、平成19年度の町一般会計及び特別会計の決算が承認されました。

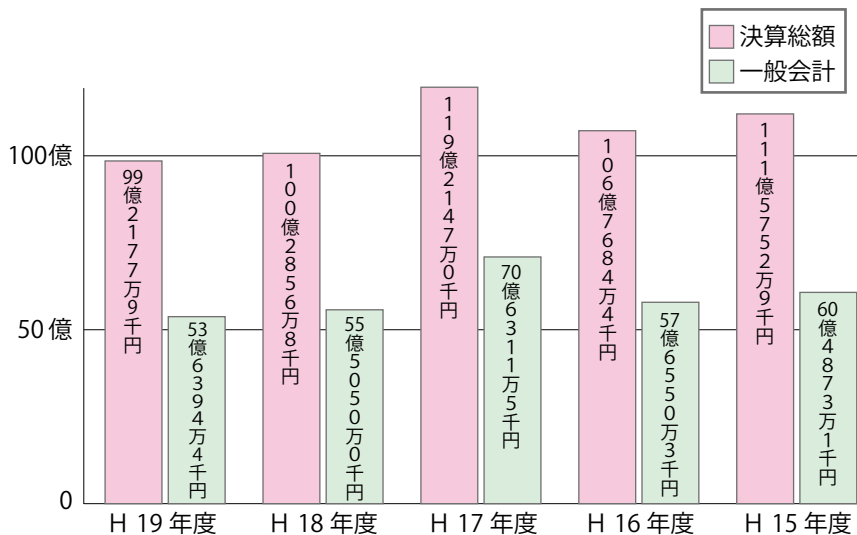
これまで本町は厳しい財政事情のなか、まちづくりを進めるうえで必要かつ持続的な行政改革に取り組み、補助金や人件費を見直しながら事務事業の改善を実施してきました。その結果、実質収支は一般会計で1億円強の黒字となりました。ここで、平成19年度の決算状況を報告します。

平成19年度歳入歳出決算額

(単位：千円)

内訳	収入済額	支出済額	差引残額
決算総額	10,149,966	9,921,779	228,187
一般会計	5,529,131	5,363,944	165,187
特別会計	4,620,835	4,557,835	63,000
国民健康保険(事業勘定)	1,227,170	1,226,296	874
国民健康保険(直診勘定)	144,439	144,439	0
老人保健事業	1,288,003	1,227,787	60,216
介護保険事業	799,705	797,967	1,738
老人福祉施設事業	452,439	452,439	0
簡易水道事業	444,623	444,623	0
屠畜場事業	1,701	1,701	0
農業集落排水事業	85,872	85,872	0
公共下水道事業	176,883	176,711	172

歳出額の年度別推移



実質収支は1億円強の黒字

平成19年度の歳入総額は、一般会計と特別会計を合わせ約101億4996万円となり、ほとんど前年と変わらない水準であった。一方、歳出総額は約99億2177万円となり、対前年比で約3億円の減となった。

一般会計で見ると、歳入総額55億2913万1千円となり、町税は5億3549万円弱で、決算に占める割合は9・7%、徴収率は93・1%であった。歳出総額は、53億6394万4千円となった。

翌年へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は1億1571万1千円の黒字となった。

しかし、経常収支比率は86・7%と前年より0・2ポイント微増し、望ましいとされる75%以下の水準を大きく上回った。

また、借金返済額の割合を示す公債比率は9・9%となり、対前年比で1・3ポイント減となった。

◎主な財政用語

◆経常収支比率

経常的経費（人件費、物件費、扶助費、公債費、補助費等）のうち臨時的なものを除いた経費）のために経常一般財源（町税、地方交付税、地方譲与税の使途が特定されないもの）がどれだけ充当されたかを示す比率をパーセントで表したもので、比率が低いほど財政構造は弾力性がある。

◆町債

町が財政不足を補うため長期にわたり借り入れる借入金（一般家庭でいえば家をつくるためのローンなど）。

◆実質公債費比率

自治体収入に対する借金返済額の比率を示す。従来の起債制限比率には反映されなかった一般会計から特別会計への繰り出し金も含まれる。

◆繰出金

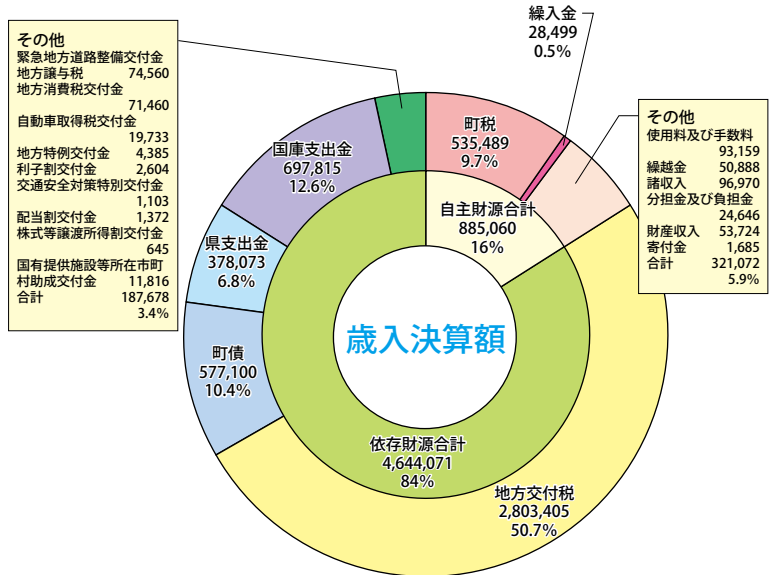
特別会計の歳入不足のため一般会計から出したお金（諸支出金）。

一般会計の収支状況（決算書より）

(単位：千円)

区分	年度	H18	H19
歳入総額	A	5,654,388	5,529,131
歳出総額	B	5,550,500	5,363,944
形式収支額（A－B）	C	103,888	165,187
翌年度への繰越	D	139	49,476
実質収支（C－D）	E	① 103,749	② 115,711
単年度収支②－①	F	10,458	11,962
積立金	G	23,150	18,537
繰上償還金	H	0	0
積立金取崩し額	I	0	0
実質単年度収支（F＋G＋H－I）		33,608	30,499

平成19年度歳入決算額

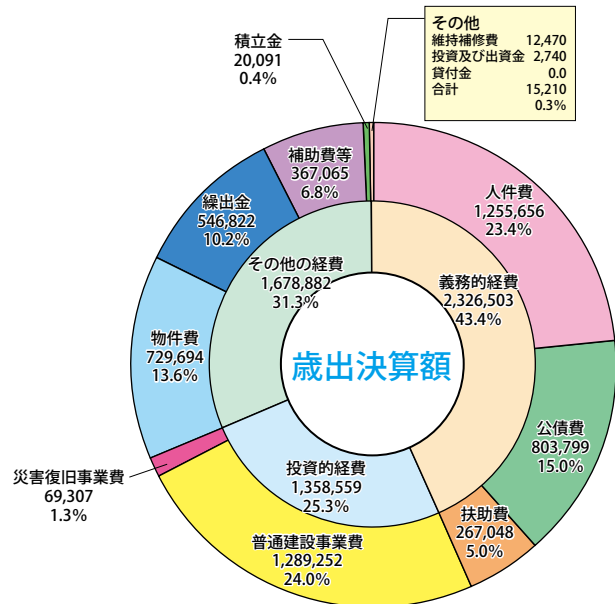


特別会計の歳入歳出額

(単位：円)

特別会計	歳出（支出済額）	公債費	繰入額
国民健康保険会計	1,226,296,469	0	117,524,048
（うち直営診療施設会計）	144,439,159	0	52,638,879
老人保健会計	1,227,787,556	0	104,704,000
介護保険会計	797,967,480	0	131,126,000
老人福祉施設事業会計	452,439,069	99,175,067	52,209,900
屠畜場事業会計	1,701,388	0	307,133
簡易水道事業会計	444,623,569	60,792,192	15,940,998
農業集落排水事業会計	85,872,841	72,307,748	76,685,171
公共下水道事業会計	176,711,030	77,571,008	61,308,018

平成19年度歳出決算（性質別）



- ◆平成19年度末地方債（借金）残高
昨年度は新たに5億7710万円を借り入れ、8億0379万円を返済した。
起債（借金）残高は74億0713万5千円。
- ◆平成19年度末基金（貯金）残高
昨年度は1853万円を積立て、取り崩しはなく、基金残高は14億3661万円となった。（一般会計決算書より）

財政化判断比率

年度	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
19	—	—	11.82	101.86
早期健全化基準	15.00	20.00	25.00	350.00
財政再生基準	20.00	40.00	35.00	

◆将来負担比率
収入に対し、将来にわたって返済しなければならぬ借金の割合。350%を超えると危険水準。

◆実質収支比率
標準財政規模に対する実質収支額の割合で示される。実質収支が黒字の場合は正の数、赤字の場合は負の数で表される。

町長・町議ダブル選挙結果

町長選は2期連続無投票当選
町議選14人が少数激戦を制し当選

投票率89・71%
地元選初の90%割れ

町長選挙

9月23日の告示日に、加藤啓雄候補以外に立候補がなかったため、無投票により加藤候補の当選が決まった。



加藤啓雄 (74)
川嶺・無現

町長あいさつ

このたび、2期連続無投票により3期目の町政を担うことになりました。

町民の皆さまに、これまでの8年に及ぶ町政運営にご協力いただいたこと。また、3期目に向けてご信任をいただいたことに對し、この場を借りて心より感謝申し上げます。

さて、わたしは何よりも町民の皆さまとの対話を大切に、一層の行財政改革を進め、一島一町としての持続可能な財政の健全化に努めます。

その上で、安心・安全な上下水道の改善、お年寄りが生きがいと実益を兼ねた農業のできる

基盤づくり、古里と自らに誇り

を持てる教育を基本理念に心豊かであらう人材の育成並びに子育て支援体制の構築に取り組みます。

これからも、町民一人ひとりと手を取り合い「日本一住みよい島」を、ともに創りあげていく所存です。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



町議選の開票作業

町議会議員選挙

9月23日に告示され、定数14に對し、15人の立候補があった。28日に行われた投票票の確定結果は以下のとおり。

得票順

(氏名・年齢・住所・所属等・得票数・当選回数)



生駒 弘 (57)
城久・公明新
475 票①



外内千里 (53)
志戸桶・無現
476 票④



吉原勇造 (63)
小野津・無現
480 票③



照 周一 (58)
荒木・無新
496 票①



安岡欽眞 (69)
赤連・無現
521 票⑧



榮 哲治 (52)
上嘉鉄・無新
385 票①



中島智一 (65)
塩道・無現
393 票③



上間一寛 (60)
手久津久・無現
412 票④



乾 和夫 (52)
湾・無現
456 票③



若松純雄 (76)
伊実久・無現
462 票③



里村忠弘 (62)
佐手久・無現
313 票③



青山春男 (67)
浦原・無現
320 票⑦



幸 一美 (67)
湾・無新
328 票①



安田英次郎 (62)
坂嶺・無現
359 票③

次点

谷本泰男 (65)
早町・無新
264 票

喜界島の文化・民俗を 学び掘り起こそう

奄美沖縄民間文芸学会・喜界島大会が開催

奄美、沖縄の歴史や文化、民俗を研究する奄美沖縄民間文芸学会（会長、山下欣一鹿児島国際大学名誉教授）主催の喜界島大会が喜界町郷土研究会（上原慶三郎会長）の共催で9月6日と7日、役場コミュニケーションセンターで開催された。

奄美と沖縄で交互に持ち回りで開催される同大会が、喜界島で開催されるのは今回が初めて。6日は講演会、7日は研究発表やシンポジウムなどがあり、延べ約200人が参加した講演や調査報告では、喜界島の民俗、歴史、文化についての再確認や新発見などの内容に熱心に耳を傾け、活発な質疑応答もあり、成功のうちに大会は終わった。

また、同学会のメンバーは8日、島内の名所旧跡や神宮集落のシバサシーの様子を視察した。



熱心に耳を傾ける参加者

初日（6日）は、本町教育委員会による野崎拓司学芸員による「喜界島の遺跡について」、鹿児島国際大学の山下欣一名誉教授による「奄美・沖縄研究の回顧

と展望」と題しての講演があった。

野崎学芸員は、喜界島における遺跡の現況や全国の歴史考古学学者からも注目を浴びる城久遺跡群の概況を説明した。出土する遺物のほとんどが島外からのもので、初期高麗磁器、朝鮮系無釉陶器の出土は最南端であり、約千年前の太宰府との関係を含めて、従来の学説では説明できない事例があるなど、その特異性、重要性を解説した。

つづいて登壇した山下名誉教授は、民俗学の位置づけや現在の生活にも強い影響を残していることなどを指摘し、奄美の

代表的な文化であるユタの口承である「オモイマツガネ（思松金）」を紹介しながら、「先人が築いてきた民俗を掘り起こすことは、喜界島や奄美・沖縄の将来を創ることである」と訴えた。

二日目（7日）は、研究発表会とシンポジウムがあった。

研究発表会では、喜界島郷土研究会の中澤鶴子氏による「語り継がれている『マルブンダチャー』」、天城町文化協会会長の岡村隆博氏による『中舌母音』と『声門閉鎖音』をどう教えるか」方言伝承の一方論として」と題して二氏が発表した。

中澤氏は、白水を舞台にした民話である『マルブンダチャー』が、地元ではほとんど知られていないことを、アンケート結果とともに示しながら「民話は、

人々の記憶をたよりに口承で受け継がれ、それ故にその時々により移り変わる。変わりゆく喜界島において、われわれは語り継ぐべきを見つけ、伝える側にいる」と話した。

岡村氏は、奄美地域の方言について説明し、「なぜ、今方言なのか。それは言葉を大事にする心は心を大事にすることであり、言い換えれば方言を大事にすることは島の心を大事にすることである」と話した。

また、喜界島の一部と奄美大島・徳之島にある「中舌母音（カ行以降の工段や複合母音）」※活字では表現不能」と琉球方言全般にみられる硬い発音と軟らかい発音のうちア・ヤ・ワ行の硬い発音である「声門閉鎖音」の特殊性を解説した。

最後に岡村氏は「奄美方言の採取はその特殊性から困難であり、自然破壊以上にその消滅は進んでいる。方言の先細りは島文化全体の衰退である」と警鐘を鳴らした。

シンポジウムでは、上原慶三郎喜界島郷土研究会会長が「荒木王に関わる伝説について」、高橋一郎宇検村誌編さん委員が「英雄伝説に託されたもの」、新見公立短期

大学の原田信之氏が「沖縄の英雄伝説」と題して基調報告をした。

つづいて立命館大学の真下厚教授と沖縄県立芸術大学の波照間永吉教授による司会でデイスカッションがあり、荒木王や琉球の舜天王など各地に点在する英雄伝説の比較などが議論された。

翌日（8日）、同学会一行はムチャカナ公園など島内の名所旧跡を回り、特に神宮集落のシバサシーに係る墓参りを興味深げに視察した。

会に参加した喜界島郷土研究会の得本拓さん（赤連）は「死生学を研究する明治大学の金山明生教授がシバサシーを見て『私が理想とする、死』のあり方が、この島で実践されていた」と感動していたのが印象に残った」と興奮気味に話した。



ムチャカナ公園にて

「敬老の日」にあわせ各種行事開催

敬老金支給や百才敬老訪問など

敬老の日（9月15日）の前後、各集落での敬老金支給や百才到達者への表敬訪問、老人ホーム「喜界園」（金井勝芳園長）と「グループホームがじゅまる」（早川百合枝代表）での記念品贈呈や大福電設株式会社（鹿児島市、高牟禮哲博社長）が車イスを喜界園に贈呈するなどの行事が行われた。

敬老金支給

今年度の敬老金支給は9月9日、町三役を筆頭に保健福祉課職員が3班に分かれ、各集落公民館などで80〜90歳と101歳以上の老人を対象に行われた。

大朝戸・西目集落では加藤啓雄町長が「本町では千名を越える80歳以上のお年寄りがお元気でいらつしゃいます。皆さんのお陰で介護保険なども他の市町村より安い保険料で運営できています。皆さんはシマの宝です。イツマデイム元氣ツシタボリ」とあいさつし、一人ひとりに敬老金を手渡しした。



「ウガンドウーサ 相変わらず元氣デーヤー」

敬老記念品贈呈

今年の百歳到達者である、梅田すゑさん（佐手久）宅と平ユキさん（中里）宅を9月10日、加藤町長が表敬訪問して記念品を手渡した。

梅田さん宅では、訪問した町長を、すゑさんが演歌を歌って歓迎する一幕もあった。元気の秘訣を義娘の利枝子さんは「若い頃から農作業と機織りできたことと、朗らかな性格で、好き嫌いがなく、毎日の晩酌や唄と踊りが秘訣では」と話した。



家族そろって町長と記念撮影

梅田さん宅を後にして、「グループホームがじゅまる」と老人ホーム「喜界園」を訪問し記念品を手渡した。喜界園では、加藤町長が「これまで皆さんのご苦労により、このシマがあります。充分体には気をつけて、いつまでもお元氣なお姿を見せてください」とあいさつし、一人ひとりに声をかけながら記念品を手渡した。

大福電設車イス贈呈

毎年恒例となっている大福電設による車イス贈呈が、9月18日、喜界園で行われた。

車イス贈呈式とあわせて記念品も一人ひとりに大福電設社員から手渡され、また今年から町営から民間へと引き継がれた「ひまわり第一保育園」（久保一也園長）の園児から、大福電設が用意したカーネーションがお年寄りに手渡され、園児によるお遊戯の披露もあった。金井園長は「いまある車イスは老朽化が目立つ、本来にありがたいこと」と感謝した。



園児によるカーネーションプレゼント

広告の窓

町内・町外（島出身者に限る）の事務所や店舗などをお持ちの皆さま、町の広報やホームページに広告を掲載して会社やお店のPRをしませんか。

▶お問い合わせ 役場企画課 ☎ 0997-65-1111

ふるさとに感謝をこめて・・・

交流とチャリティーの喜界島公演

関西・喜界島の＜島唄・民舞の大共演＞

日 時：2008年12月7日（日）
 ◆開演：13時 ◆開場：12時
 会場：喜界町立第一中学校 体育館
 入場整理券：1000円（小学生以下無料）
 販売場所：喜界町役場企画課・生涯学習課・文化協会・各集落区長・商工会協力店
 お問い合わせ：喜界町役場企画課・生涯学習課 0997-65-1111
 関西奄美民謡芸能保存会 里井会長 090-2381-3449
 森幹事長 090-3658-0212
 徳野相談役 090-8234-5292

主催：関西奄美民謡芸能保存会
 共催：喜界町
 後援：関西奄美会・関西喜界町郷友会・喜界町文化協会喜界町社会福祉協議会・南海日日新聞社・奄美新聞社
 協賛：(株)エクスプレストラベル・(有)レインボートラベルサービス・パナウルライフサービス

ジュニアの話題

その1



琉球大、志戸桶七城跡調査 志小児童・地元住民に説明

琉球大学法文学部人間科学科考古学研究室（池田ゼミ）の池田榮史教授と同研究室の学生10人は9月19日から25日まで、平家の落武者伝説が残る七城跡（志戸桶）の遺跡調査をした。

池田ゼミは平成17年から遺跡の測量を行い、規模や形状を調査してきた。

今回は、遺跡内やその周辺の発掘調査をし、遺跡の中心部に土塁（盛土）で囲まれた約六百平米の広場や14世紀末に明（現在の中国）で作られた青磁器などが確認された。

24日には志戸桶小学校（刈川孝子校長）の5、6年生児童21人が授業の一環として発掘現場を見学し、七城の時代背景や明らかになった構造、出土品について説明を受けた。また25日夜

は、地域住民を対象に東部地区構造改善センターにおいて、七城が長い年月をかけて改修が重ねられていることや、規模の割に遺物が少ないことから、人が常駐していたわけではなく、緊急時や祭事などの時だけ使われた可能性があることなどを説明した。

今回の感想を坂南海子さん（6年）は「すぐそばにこんな遺跡があるのを知らなかった。発掘作業は時間をかけた細かい作業で大変だと思いました」、向井結子さん（5年）は「発掘された磁器は欠けていたけどガラスみたいに頑丈できれいだった」とそれぞれ話した。

池田教授は「琉球では石垣で囲んだ『城（ダスク）』が一般的。七城は土塁であり、鎌倉時代の豪族の屋敷と似る。この時代は、琉球と大和の境界であったが、七城完成から琉球から征服されるまでに何があったのか、今後の調査が期待される」と話した。

七城跡発掘に興味津々

池田ゼミでは、今回の調査結果をもとに、来年3月から約一ヶ月かけて本調査するとい

法政大、喜界島の家屋を他地域と比較し阿伝と城久で調査

法政大学デザイン工学部の永瀬克己教授と学生11人は9月8日から13日まで、他地域（主に琉球）と喜界島の家屋建築の比較調査を行った。

今回調査したのは阿伝集落と城久集落の家屋。調査方法は、断面図、立面図、平面図をそれぞれ実測した。

調査を終えて永瀬教授は「屋根の構造などに内地の影響が一部で見られるが、各部屋などの配置は琉球の影響を強く受けているし、各部分の名称も酷似していることが興味深い。また道路拡張は通常一直線にするが、阿伝集落などは従来どおり曲がりくねったまま拡張している。集落内はどこを見ても似たところがなく、それぞれに個性がある。しかし、全体で見ると統一されていて調和している。まるでギリシヤのミノコノス島のように」と説明した。



調査する法政大生たち

屋敷にススキ挿し、ウヤフジ 供養でにぎわうシバサシ

坂嶺小学校区、小野津小学校区、早町小学校区の大半年で9月8日、先祖を敬い供養するシバサシが行われた。この日は節折目（シチウンミ）から数えて五日目となる。また、早町小学校区では白水集落の一部と嘉鈍集落はウヤンコーで先祖祭をする。なお、シバサシとウヤンコーの境界線が白水集落のなかにある理由については、諸説あるが不明である。



チョングチにススキを挿す

この日は各家々の門や四隅などにススキをさし、各集落の墓地に集落内外や島外に住む一族が、料理や焼酎などを持ち寄り一堂に会する。また、線香の束を持ち、周囲の墓にも手をあわせて回る光景もみられる。

志戸桶集落など一部の集落では墓前に料理を広げ、大人たちは四方山話に花を咲かせ、子どもたちは元気に周囲で遊ぶ（最近では携帯テレビゲームを黙々とする子どもたちも目立つようになった）。



日除けの parasol が並ぶ（神宮）

広辞苑でシバサシを引くと、「しばさし【柴挿・柴指】①齋み籠りに入るしるしに、柴を挿し立てること。また、その齋場の標示。しばたて。②奄美・沖縄地方で、旧暦八月に行われる収穫祭の一。この日に屋敷や畑にススキを挿して魔除けとし、また墓参りをする土地もある。」とある。



墓前に一族が集う（志戸桶）

秋空の下 小中高で大運動会

第一中学校



息のあったバトンリレー「あとをまかせたぞ！」



選手宣誓をする深水拓哉くん 上田昂^{あきの}のさん



▲生徒たちで考えた「マスゲーム」見事に決まった

早町中学校



◀「お兄ちゃん、お姉ちゃんカンバレガンバレ」



▲「スタートの失敗くらい ハンデですよ」

▼地域の皆さんに教えていただいた八月踊り「ヤイコラサー」と「ドンドン節」



▲部活動紹介グラウンドにて練習披露(バスケ部)

喜界高校

地域の特色をいかしたプログラムで盛りあがる

以前は所狭しとゴザを敷いたが、生徒数が減った今ではゆったりとビニールシート



上嘉鉄小学校



▲1着でゴールイン！
息がぴったりの親子です



▲なかなか風船が割れないね「お母さん、もっと太れば？」

坂嶺小学校

◀1年生と校長先生の
テープレカット



▲全校児童によるカワイイ「大応援団」



▲決して仮装行列ではありません



志戸桶小学校



▲琉球大の学生も飛び入り参加



大漁旗のしたで大綱引き釣られたのはどちら？



小野津小学校



▲木のトンネルを通過



何が釣れたかは後からのお楽しみ



早町小学校



滝川小学校



▲誇らしげに入場行進



▲お年寄りからチビッコまで全員参加の準備体操



▲町三役も参加してゴマすくい競争



▲荒木伝統の棒踊り先輩たちも参加



荒木小学校



▲老若男女、校区あげての大運動会

ひろまれ奉仕の輪 たかまれ環境意識



業を予定している。
数回の奉仕作業を継続して
り、来年2月の花見前にも作
動を行った。同クラブは、年
ンハナ公園において、奉仕活
崎福利会長）は9月20日、メ
ライオンズクラブ（朝

ライオンズクラブがメンハ
ナ公園で奉仕作業



運動会を前にグラウンド整
備〜八照建設・日の出建設〜
第一中学校運動会を前に、
八照建設と日の出建設が9月
6日、ボランティアで同校の
グラウンドや周辺の整備作業
をした。

伝統芸能の発表
やスポーツで交
流を深める！

第33回子ども会大会

本年度から従来のスポーツ大会に伝統芸能の発表を新たに加え、革新した『子ども会大会』を8月24日(午前Ⅱ文化財少年団による舞台発表、午後Ⅱスポーツ大会)に実施いたしました。

これは近年、方言・島唄・八月踊りなどの伝統文化が消えかかっている事を危惧し、継承を図るために改善を加えたものです。



趣向をこらした舞台発表の模様
(志戸桶子ども会)

地域の方々の指導もあって、本格的な舞台発表に会場全体が見入る場面もありました。

また、午後からのスポーツ大会では、それぞれの競技に熱戦が繰り広げられ、参加

た子どもたちは夏休み最後の余暇を有意義に過ごしました。

〈試合結果は次のとおり〉

- ソフトボール競技
 - ・優勝 嘉手浦子ども会
 - ・第2位 荒木子ども会
- バレーボール競技
 - ・優勝 赤連・池治子ども会
 - ・第2位 湾子ども会
- 卓球競技
 - ・優勝 嘉手浦子ども会
 - ・第2位 滝川A子ども会

各団体の充実と活性化を図る！

平成20年度生涯学習リーダー(初級)研修会

8月31日(日)に役場コミュニティホールでスポーツ少年団関係者・子ども会育成会会員・PTA会員・婦人会会員を対象に標記研修会を実施いたしました。

この研修会は、各種団体指導者として必要な知識・技能を習得し、指導者としての資質の向上を図る事を目的に隔年実施しております。

研修当日は、各単位団体から40名の参加があり、和やかな雰囲気の中、充実した一日

を送っております。



実技Ⅰ「KYT(危険予知トレーニング)」では、危険を回避する術を学習しました。

第14回喜界町生涯学習推進大会実践事項

第4分科会
〈豊かな心を育む文化活動部会〉

【実践事項】
各集落のリーダーを中心
各組織を作り、DVDも
活用しながら八月踊りの
伝承活動を活発にします。

今月号は、第四分科会で決定した実践事項を掲載いたしました。

9月・10月は、豊年祭りや運動会(体育祭)があちらこちらで予定されております。

集落民・町民こそって伝統文化が消え失せないように八月踊りに参加しましょう。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

十一月一日〜十一月七日に鹿児島県全域で、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」が実施されます。趣旨は、多くの県民に学校行事等に参加していただき、鹿児島島の教育について考える気運を高め、鹿児島県の教育の充実と発展を図るということです。

平成十五年度から実施されているこの県民週間は喜界町でも、参加者が年々増え続け、昨年度は延べ四千五百七十五人も町の民あるいは町外の方が、各学校に来てくださいました。



平成19年度の様子

本年度も各小学校で多くの取組をします。ぜひ幼稚園や学校にお越しください。子どもたちが待っていますので、よろしくお願ひします。

なお、詳細につきましては、各幼稚園、小・中学校にお問い合わせください。

第3回 喜界町夏休み理科作品展が開催!



審査会の様子

今年度3回となる喜界町夏休み理科作品展が役場ホールにて九月九日(火)〜十五日(月)の期間中、

町内の小・中学生が夏休みに一生懸命に取り組んだ自由研究や貝採集、植物採集等の約三十点の作品が展示され、通りかかった皆さんは一つ一つの作品に熱心に見入っていました。

この作品展に展示された作品は、町理科記録作品審査会で「特選」「入選」に輝いた作品でした。審査員の先生方からは、「生活の中で不思議に思ったことをテーマにしていた自由研究が多かった」「たぐさんの植物を収集した努力のあとが見られた」などの感想が出されました。年々、作品のレベルが上がってきているので、来年の理科記録作品も今から楽しみます。

10月は食生活普及月間です

9月～10月にかけては、運動会や島遊びなど色々な行事が盛り沢山。ご馳走が多くなると、油っこいものや味の濃い料理が続き、お酒が多くなり、知らず知らずのうちには食べ過ぎになっていくかも知れません。行事のない日は、なるべくあつさりとしたもの、そして副菜を多めにしたいものです。

ところで、平成18年度国民健康・栄養調査によると、30～60歳代男性では3人に1人が肥満です。様々な生活習慣病を引き起こす肥満。食生活の原因は、食べ過ぎ・バランスの悪さ・食塩の摂り過ぎなどにつながる、好ましくない「食習慣」と「嗜好」にあります。

【食習慣】食べ過ぎ・早食い、不規則な食事・外食が多い、夜食が多いなど。

【嗜好】甘物が好き・お酒が好き・こつてり味が好き・しっかりと味が好き・好き嫌いが多い・野菜が嫌いなど。

好ましくない食生活が積み重なり、運動不足が拍車をかけ、溜まっていったこの脂肪。

今年度から内臓脂肪に着目した健診が始まりました。特に内臓脂肪は、食事や運動など、生活習慣の改善で減らすことが出来ます。この機会にご自分の食生活をチェックし、見直し、改善してみませんか。

《改善のポイント》

- 腹八分目を守る。
- 欠食やまとめ食いをしない。
- 1日3食、なるべく決まった時間に食べる。
- 夕食が遅くなったら軽めに。
- 夜の間食をしない。甘い食べ物や飲み物・果物など。
- 野菜・海藻・きのこなど食物繊維が豊富な副菜を多めに。食べる時は先に食べる。
- ゆっくりよく噛んで、早食いをしない。
- お酒・お菓子・果物など、好きなものは特に適量を守る。
- 味付けは薄めに。

一方、同調査によると、20歳代女性の2割は低体重(ヤセ)でした。無理なダイエットではなく、主食・主菜・副菜を揃えて1日3食しっかり食べる中で、全体の量を調整しながら取り組むことが大切です。

平成20年度「8020運動」表彰者

今年も、鹿児島県と大島郡歯科医師会から、80歳以上で、自分の歯を20本以上保持しておられる高齢の方で、歯科医師より推薦された方に、表彰状と記念品が授与されました。

奄美郡内では40人が選ばれました。わが町では、早町の早川郁さん(80歳で24本)と志戸桶の向井てる子さん(81歳で26本)が推薦され、9月に表彰式がありました。おめでとございます！



早川 郁さん



向井てる子さん

受賞された早川さんは常日頃から、「何でも食べ、三度の食後の歯磨きと、年一、三回は定期検診のため歯科に通うこと。そして、健康のため朝夕の散歩と脂肪分の少ない食事を摂ること」を努めておられるそうです。

また、向井さんは、「長年にわたり母子保健推進員として歯の大切さを学んだことを、人にお伝えするだけでなく、自分も継続して実行して来たこと。特に効果があったのは、毎年定期的に歯科衛生士による、歯間ブラシや数種類の歯ブラシを使つての歯科指導を受けてきたこと」が良かったようです。

三年前から町を上げての「乳幼児のむし歯予防」の取り組みは、少しずつ効果が出始め、県でも注目が寄せられています。今後も続けてご協力下さい。

それと共に、今後ますます50歳以上から急増すると言われている歯周病予防のために、一人ひとりの日頃の取り組みが大切だと思います。昨年度から始まった「歯周疾患検診」、今年度の結果は、次の通りでした。

10月は鹿児島県ピンクリボン月間

今年のスローガンは、「あなたの笑顔を守りたいマンモグラフィ検診で乳がんの早期発見を」とです。喜界町の今年度の乳がん検診受診者は679人(24.3%)でした。

乳がんは、今非常に増えており年間に約3.5万人が乳がんにかかっていて、一生を通じて、30人に1人以上かかる病気で、他人事ではありませぬ。特に、65歳未満の世代では、女性のがんの第一位です。二年に一度の検診は必ず受け、また、毎月一度の自己検診を習慣化しましょう！

平成20年度 歯周疾患検診の結果

節目	受診者数		要精検者	要指導者	異常認めず
	男	女			
40歳	5	5	8	1	1
50歳	11	13	18	2	4
60歳	7	11	17	1	0
70歳	6	4	6	3	1
計	29	33	49	7	6

■不法投棄はダメ！ マナーを守って美しい島に

最近、不法投棄が多発しており、再三の行政指導にもかかわらず、処理をされないの、やむを得ず警察にお願いするなど、悪質な不法投棄が後を絶えません。

一部の心ない人たちによる粗大ごみなどの不法投棄は、随時警察など関係機関と連携し厳しく対処していますが、町民の皆さんによる監視などの協力も不可欠です。

不法投棄を発見した場合は、すぐに、もよりの警察か、役場住民課にご連絡ください。

また、ある集落のゴミ集積所に無造作に置かれた扇風機が回収されないまま放置されていました。そのままでは、回収されませんので、直接クリーンセンターへお持込みください。



不法投棄された家財類



収集できないゴミ

【不燃ゴミ】

- ビン類の鉄製キャップ
- 電池式モーターがついている子供小型玩具
- 野球スパイク、鍋、傘等
- 蛍光灯、電球、陶磁器、刃物、使い捨てライター

以上のものは、すべて燃えないゴミですので、不燃ゴミ用（赤）袋でお出しくください。

問い合わせ先

役場住民課生活環境係
電話 65・1111（内線33）

■社協よりお知らせ

喜界町社会福祉協議会では、6月18日から8月24日まで、「岩手・宮城内陸地震」にともなう義援金を受け取りました。なお、6月28日に開催された「第5回しま興し祭り」でのゲームコーナー収益金を、義援金に充てました。

この義援金は、日本赤十字社を通じ、「岩手・宮城内陸地震」の被災者の方々へ届けられます。

※義援金の額は下記のとおり

役場口ビー内	16,512円
社協内	23,325円
しま興し祭り	7,942円
計	47,779円

ご協力ありがとうございました。

■「小さな掛金 大きな補償」！

スポーツ安全保険の加入を受け付けています。

- 加入人数 5人以上
- 手続き

加入依頼書は教育委員会と鹿児島銀行に備え付けてあります。加入依頼書に必要事項を記入後、掛け金と一緒に鹿児島銀行窓口へ提出してください。

●対象損害

被保険者が日本国内での団体の活動中および復帰中に急激で偶然な外来の事故により被った障害。

問い合わせ先

教育委員会生涯学習課
電話 65・1111（内線53）

■税務署からのお知らせ

○「電話による税務相談の集中化」について

平成20年11月4日（火）から、納税者の方からの電話による国税に関する一般的な相談を、「電話相談センター」に集中化することといたしました。

税務署の代表電話におかけいただいた電話は、自動音声によりご案内いたします。

*電話料金については、おかけになった税務署までの通話料金でご利用いただけます。

*具体的な書類を確認する必要があり、事前にご予約をいただいた上で、税務署の担当部門でお受けしています。

詳しくは、最寄りの税務署へお尋ねください。

大島税務署

電話 0997・52・4321

■奄美海上保安部からのお知らせ



海上保安庁60周年記念ロゴ

奄美海上保安部では、海上保安業務への理解を深めることを目的に、11月2日午

前10時から午後3時まで、トンビ埼灯台の一般公開を実施します。



トンビ埼灯台

問い合わせ先

奄美海上保安部交通課
電話 0997・53・5569

■2008年漁業センサスを全国一斉に実施します。

～調べます！日本の水産業～

この調査は、5年ごとにわが国の水産業の実態を明らかにする「水産業の国勢調査」ともいふべき大切な調査です。

農林水産省が都道府県・市区町村を通じて実施する調査で、漁業者や水産関係者の方々のご記入のお願いに伺います。調査への協力をお願いします。

問い合わせ先

喜界町役場企画課
電話 65・1111（内線24）

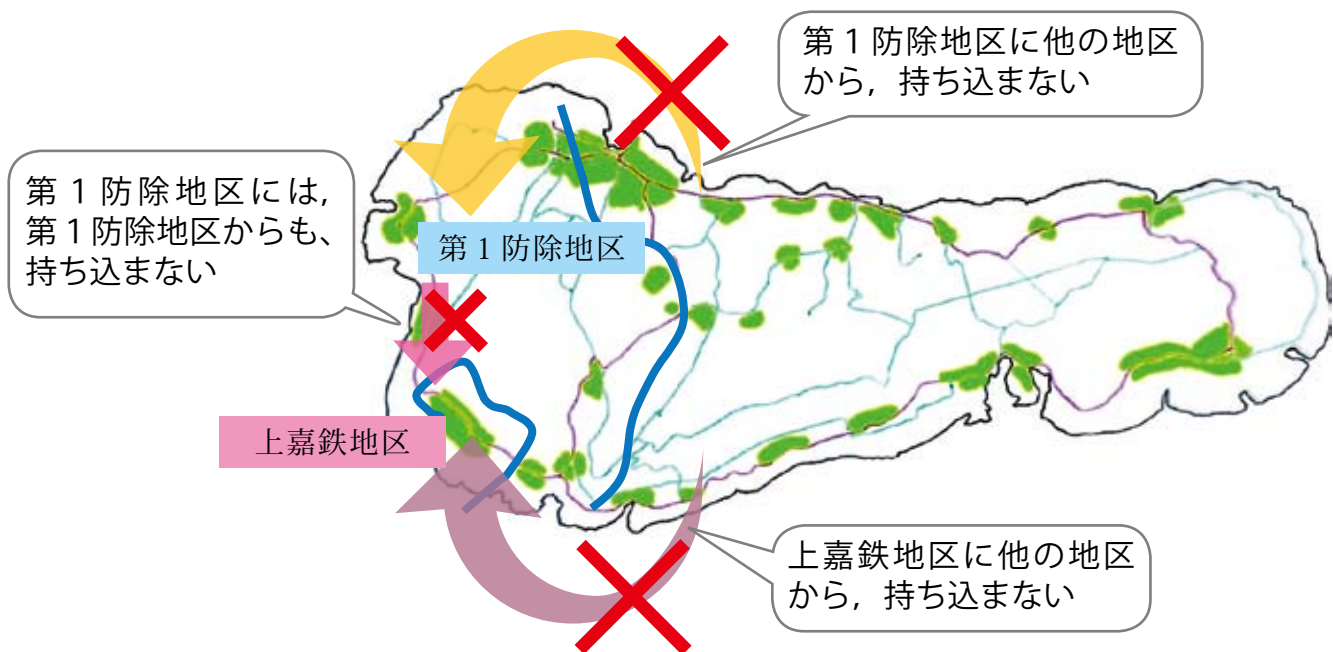
アリモドキゾウムシ防除対策協議会からのお願い

アリモドキゾウムシがサツマイモ畑で発生すると、その畑が発生源となって周囲の畑やノアサガオ群落へ拡散していきます。サツマイモ畑からの発生をゼロにするため、当協議会では次のような内容でみなさまに協力を呼びかけています。

①いもづる・種いもを発生地から持ち出さない

アリモドキゾウムシの拡散につながるので、発生地からいもづる等の持ち出しはしないようにお願いします。根絶状態にある上嘉鉄地区と不妊虫放飼地区（第1防除地区）については、地区外から芋づる、苗、種いもを持ち込まないようにお願いします（下図参照）。

いも苗、種いも、いもづるの異動制限



②適正な栽培管理の徹底

アリモドキゾウムシの住みかとなるので、周年栽培、放置イモ畑、苗用の越年栽培は、行わないようにお願いします。サツマイモを栽培する場合は、防除対策を徹底し、適期収穫を心がけて下さい。

③被害を受けたサツマイモは速やかに処分

アリモドキゾウムシの発生源にならないように、被害を受けたサツマイモは速やかに処分して下さい。畑にそのまま放置することや、雑木林等へ捨てることは行わないようにお願いします。処分方法がわからない場合は、当協議会にお問い合わせ下さい。

STOP アリモドキ！！ 喜界地区アリモドキゾウムシ防除対策協議会
お問い合わせ：喜界町産業振興課 Tel 65-1111 大島支庁農政普及課特殊病害虫係 Tel 52-0299

パイルの話題 MON



9月子牛セリ市結果報告 平均価格前回を上回る

9月の子牛セリは8日に行われた。193頭（去勢101、雌92）が入場し、190頭が売却された（雌の3頭は自家保留）。総売上代金は6914万4千円だった。

平均価格は去勢39万1475円、雌33万2640円であり、前回に比べて去勢は1万9514円高、雌は3万110円高となった。また、最高価格は、菊地俊広さん（荒木）の雌51万1000円。

原油高、穀物高により低調だった子牛価格が、前回より若干上昇した今回の結果について、役場産業振興課の重野泰浩畜産係主査は「夏場需要により肥育農家に空き牛舎が出たこと



今月の最高値、菊地さんの「ももえ号」

や、国の緊急補助金があったためだが、今後も厳しさは変わらず、品質向上の努力が必要」と分析した。

榮舞さん女子相撲九州大会 で3位入賞!! 全国大会へ

昨年度奄美大会で優勝（小学校6年の部）し、今年の県大会でも優勝と勝ち進んでいた榮舞さん（早町中1年、佐手久）が8月31日、長崎県諫早市で開催された第6回全九州女子相撲選手権大会（主催、九州相撲連盟、財）日本相撲連盟）に参加した。



緊張気味の榮さん

同世代の選手と対戦してきた榮さんだが、今大会は中学生以上は「一般」として扱われ、成人との対戦もあった。

榮さんは団体戦と個人戦に出場し、3人編成の体重無差別で競われる団体戦は、鹿児島県代表は2人のみの編成となり惜しくも上位進出はならなかった。総当たりの個人戦では軽量級にエントリーし、5戦のうち初戦と2戦目に連敗したものの、高校生3人に連続勝利と盛り返し、見事3勝2敗で3位入賞を果たし全国へのキップを手に入れた。



指導する倉橋憲司さんと

試合を重ねるごとに、ハツラツとした取り口とさわやかな笑顔に、さっそくファンができ激励されたという。

試合を終えて榮さんは「強い相手が多かった、もっと練習しないと。全国でも上位に進めるよう技を磨きます」と決意した。

なお、榮さんが出場する全国大会は、11月9日に静岡県で開催される。

バカイカ（アカイカ）が赤連 中間海岸で多数打ち上げ

喜界島近海で漁獲されるイカ類の仲間ではごく一般的なバカイカが9月12日の早朝、赤連から中間にかけての海岸線に多数漂着した。

中間海岸の近くに住む男性は「湾、中里や坂嶺は沖に向かって潮が流れるが、中間や池治は沖からの潮が陸にぶつかることが多い。波の荒い日はよくバカイカが打ち上げられている」と説明する。

朝早くはまだ生きており、「海からの恵み」とばかりに持ち帰る人もいるが、カラスやカニのエサとなったり、翌日には腐食が進み異臭を放つため、周囲にとっては「招かれざる客」ともいえる。とはいえ、ヤリイカやアオリイカにはかなわないうが、新鮮なものは刺身や鮓種として美味であり、加工用としては高



中間海岸に打ち上げられたバカイカ

級品であるという。バカイカとは正式名称ではなく通称であり、シマではアカイカのことを指すが、東京築地市場ではケンサキイカやソデイカのことをアカイカと呼び、なぜかアカイカを正式名称どおり呼ぶ地域はない。

また、ソデイカやスルメイカをバカイカと呼ぶ地域もあるため、消費者にとっては呼称について混乱する原因となっている。

AEDの使用方法を学ぶ

大島地区消防組合喜界分署（川畑英二分署長）は8月19日と21日、それぞれ午前と午後の4回にわたり、普通救命講習を町役場で開催した。

参加した役場職員35人は、庁舎内に設置されているAED（自動体外式除細動器）を緊急時に使用できるよう、AEDの使用手法や、心肺蘇生の方法を学んだ。

講習会に参加した職員は「心肺停止などの事態は処置が早ければ早いほど生存率が上がることを学んだ。いつも目にするAEDだが使用方法が分からなかった。もしもの時はこの経験を活かしたい」と話した。

【AED】心臓の動きに機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショックを与え、

心臓の働きを戻すことを試みる医療機器。日本でも法改正により医師資格を持たなくても使えるようになり、現在では学校や駅など公共施設には広く設置されている。

〈消防分署より〉

消防分署では心肺蘇生やAEDの使用法などについて、講習会の申込を受け付けております。職場や団体等で受講を希望される場合は、消防分署へご連絡ください。

電話 65・3311

食の伝承講座が開催

〜郷土の食材や味を大切に〜

シマ（農村）の生活全般のより良い向上を目的とした喜界町生活研究グループ（伊牟田正子会長）は「郷土の食材や味を大切に」を合言葉に9月13日、同校PTAが主体となって活動する「おもしろ寺子屋教室」も兼ねて、湾小児童や保護者など20人が参加して、「食の伝承講座」を湾小学校調理室で開催した。

「かぼちゃ入りふくれ菓子（島座力ボチャ使用）、野菜ジュースゼリー（ハンダマ使用）、野菜団子の三兄弟（スンカー使用）をつくった。

子どもたちは慣れない手つきながらも、同グループの講師陣から手ほどきを受け、楽しみな

がら調理した。

完成後に子どもたちは「ボクが作った団子は四兄弟だよ」などとおいしそうにシマの食材を使った料理をほおぼっていた。



みんなで食べるともっとおいしいね

体力づくり ストレス解消に バドミントンはいかが？

北京オリンピックでの「オグシオ」ペアの活躍が記憶に新しいバドミントン競技。全国的にも数年前から静かなブームを呼んでいるが、喜界島でも同好の志が集い、楽しく心地よい汗を流している。彼らの名前は「湾小バドミントン同好会」、名前の由来は湾小の体育館で活動しているため、湾小関係者がメンバーというわけではないとのこと。

夜8時に集合し、準備運動や基礎的な反復練習はせずに男女ペアに分かれて、いきなり練習

試合がはじまる。

オグシオに負けない好プレーを見せたかと思えば、あつさり空振りをしたりと、和気あいあいとした雰囲気の中、中学生から50代までの幅の広い年代が、日頃の運動不足やストレスを解消している。とはいえ、前後左右に激しく動き、かなりの運動量が必要とされる。

今年から参加している外西伸一さん（赤連）は「仕事が終わったあとに家族連れなどで気軽に参加できる。技術向上は目指していないが、町バドミントン協会主催の大会で一度は予選突破したい」と話し、「この半年で5キロ痩せました」と胸を張った。

練習日は、毎週月曜日と金曜日の夜8時から10時まで、皆さんも一度のぞいてみてはいかがでしょう。



流した汗はすぐにビールで補給

次期奄美群島振興開発計画策定に係る意見について

現在、群島内の市町村においては、次期奄美群島振興開発事業の施策・事業等の検討を実施しているところであり、次期奄美群島振興開発事業の計画期間は、平成21年度から26年度までの5年間となっています。

これまで実施して来た各種事業のもと、住民の生活安定・福祉の向上など自立的発展に一定の成果を上げてきました。特に次期奄美群島振興開発事業においては、「農業・観光・情報」分野での、地域主体の取り組みの定着と、雇用拡大に主眼をおいた、計画策定を実施することとなっていることから、広く地域住民の意見を聴取（募集）して、計画策定に努めることとなります。

以上のようなことから、本町では町民各位のご意見等を広く聴取することに致しましたので、直接または電話・FAX・メール等で、企画課までご意見をお寄せ下さい。

寄せられたご意見が、すべて次期奄美群島振興開発計画に反映されるとは限りませんが、多くのご意見をお待ち申し上げます。

なお、意見等の聴取期限は **10月30日**と致します。

問い合わせ先：役場企画課 TEL 0997-65-1111(内線22・23)
FAX 0997-65-4316
メール lgwan@town.kikai.lg.jp

行政相談週間 10月20日（月）～26日（日）

行政の悩みごとについて、行政相談委員に相談してみませんか。

当町では、行政相談委員（園田 直樹さん）が、普段から国の仕事についての疑問や要望などについて、自宅や電話で相談に応じています。

この度、行政相談週間行事の一環として、次のとおり、行政相談所を開設しますので、お気軽にご相談下さい。相談は無料、秘密は守られます。

日 時：平成20年10月20日（月） 午前10時から午後3時まで
場 所：役場研修室
行政相談委員：園田 直樹（喜界町赤連2400番地）
TEL 65-3663

*** 知っていますか？ 建退共制度 *** (建設業退職金共済事業)

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国がつくった退職金制度です。

事業主の方々は、現場で働く労働者の共催手帳に働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退協から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

加入できる事業主：建設業を営む方
対象となる労働者：建設業の現場で働く方
掛金：日額310円

★特徴

- ◎国の制度なので安全、確実、申し込み手続きは簡単です。
- ◎経営事項審査で加点評価の対象となります。
- ◎掛金の一部は国が助成します。
- ◎掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。
- ◎事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

☆建退共からのお願い

建設業界を引退しましたら忘れずに退職金を請求してください!!

ホームページ「建退共」に、退職金の試算・パンフレット請求等、建退共制度の知りたい情報が記載されています。ぜひ、アクセスしてご覧ください。

※詳しいことは、最寄りの建退共支部へお問い合わせください。

鹿児島市鴨池新町 6-10 鹿児島県建設センター内 TEL：099(257)9216

国民年金の「保険料納付確認団体」制度が創設されます

～同業者等の団体が構成員に代わって「国民年金保険料の納付状況」の確認をしていただく制度です～

制度の目的

構成員の「年金受給権の確保」と「保険料の納め忘れ防止」

☆保険料納付確認団体とは・・・

- 同種の事業又は業務に従事する被保険者を構成員とする団体等を保険料納付確認団体に指定し、国民年金被保険者である構成員の委託に基づき、構成員の年金保険料の納付状況を確認していただく仕組みです。
- 団体を通じて構成員へ納付状況を知るとともに自主的な納付を促進していただくことで、構成員の年金受給権を確保することが目的です。

お手続きについて

☆最初に・・・

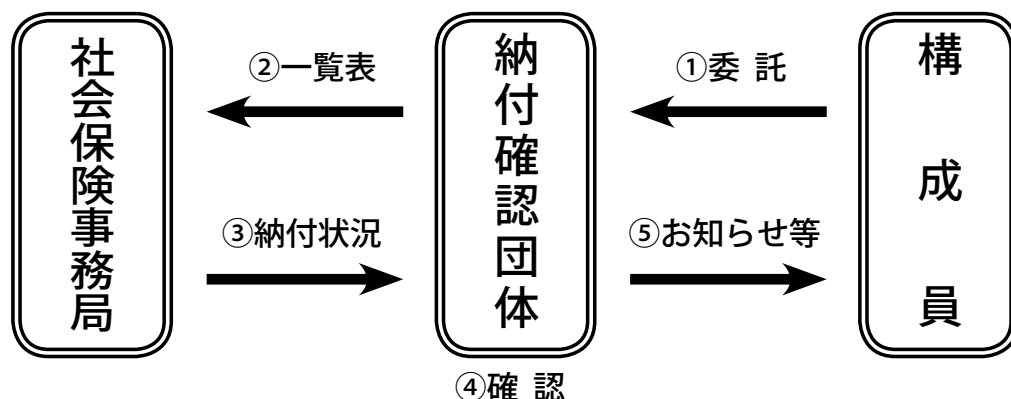
地方社会保険事務局へ指定の手続きを行ってください。

- ① 「保険料納付確認団体指定申請書」等を地方社会保険事務局にご提出ください。
- ② 地方社会保険事務局から「指定通知書」を交付します。
- ③ 貴団体が「保険料納付確認団体」として指定されます。

☆指定を受けた後は・・・

構成員の保険料の納付状況をご確認いただくことができます。

- ① 希望される構成員（国民年金第1号被保険者）より委託書を受理してください。
- ② 貴団体から地方社会保険事務局に構成員情報を記載した一覧表を送付してください。
- ③ 構成員の保険料納付状況を地方社会保険事務局から貴団体へ送付します。
- ④ 構成員の納付状況を貴団体にてご確認をお願いします。
- ⑤ 貴団体から構成員に対して納付状況をお知らせ・納付促進等をお願いします



【お問い合わせ】 鹿児島社会保険事務局 電話099-812-0165

「喜界島の薬草」と

「日食科学」と受入方」

について学ぶ



奄美ミュージアム人材育成事業第3回喜界島地区講座

「癒しの島あまみ（奄美アイランドテラピー）」を基本理念に、持続可能な地域振興を目指すことを目的とした奄美ミュージアム人材育成事業の一環として「第3回喜界島地区講座」が奄美群島広域事務組合の主催で9月18日、役場コミュニティセンターであった。

3回目となる今回は、町家畜診療所の高坂嘉孝獣医師による「喜界島の野草について」、和歌山大学観光学部地域再生学科の尾久土正己教授と同2回生の川元美咲さんにより来年7月22日に喜界島で観測される皆既日食を受けて「日食科学」と受入方」の2テーマで講座が開催された。

①喜界島の薬草

冒頭、高坂さんは「薬草は、『くさかんむり』を取れば楽しい草となる。今年は台風がないので秋の桑の実がなっていないが、この島でも四季を楽しめます」と話し、用意されたゴマ、アカテツ、シマグワなど8種類のお

茶を楽しみながら講座が始まった。

高坂さんは、シマに生えている野草はほとんどが薬効（ごく一部は毒草）があると話し「ヨモギは天ぷらにするとアク抜きが必要がない」、「クワの葉はタンパク質が多く栄養価が高い」などと、食用としてだけでなく、染料や入浴剤などとしての使用例をあげながら、持参した野草や木の葉を一つひとつ手にとつて説明した。

また、他の地域より島産の野菜や黒糖がおいしく、薬草の効能が高い理由を「喜界島は生まれて10万年と若い島で、世界的に見ても珍しい。それ故に、母なる海の養分（ミネラル）が土



ノブドウを手に説明

●説明があった野草（一部）

クマタケラン（ムッチーハサー）…入浴剤となる。ツルナ…野菜として食す。ヘクソカズラ…皮膚病に効果あり。柿の葉…血圧の薬としてかなりの効果。使用には注意。サツカチ…ぜんそく薬。サクナー…ぜんそく薬。オオムラサキシキブ…有毒。ハイビスカス（葉）…風邪薬。イタビ…お茶としておすす。センダン…有毒。クチナシ…お茶として美味。頭痛薬、睡眠薬。アカメガシワ…胃腸薬。口ににがし。タイワンソクス（トードー）…若葉は食用。お茶。クサギ、野菜。ルコウソウ…有毒。イチヨウ…島に20本確認。黄葉しない。物忘れに効く？

壤にそのまま残っているため」と話し「喜界馬は丈夫でおとなしかった。特に馬の命といえるヒヅメが丈夫であり農耕馬や軍馬として大変重宝された。理由は島の草を食べていたから」と獣医師らしく分析した。

最後に高坂さんは「これらの野草をうまく生かせば、事業として成功する可能性が高い。チャレンジしてみても」と話した。

なお、近い将来に「シマの野草パンフレット」（仮称）を作成する予定とのこと。

②日食科学と受入方

冒頭、天文学が専攻という尾久土観光学部教授は「観光と

天文学は『行ったことのない場所に行きたい。見たことない物を見たい』という好奇心が共通して根底にある」と説明し、来年実現する皆既日食を説明した。

尾久土教授は皆既日食の仕組みを「観測者―月―太陽が一直線に並ぶこと」と説明し「50年前に喜界島でも観測された『金環日食』は、より太陽が近いため月より大きく、一直線になっても太陽が月に隠れきれないでドーナツ状になる。したがって直視できず周囲も夜のように暗くならない」と付け加えた。

また、皆既日食の魅力を映像を見せながら「とにかく美しい。地平線は夕焼けのようになり、金星や水星が見える。風が吹き、気温も5℃ほど下がる」と説明し「世界各地に様々な伝説が残る、日本の『天岩戸（アマテラス）伝説』もそのひとつ。一度目にするとその美しさに心奪われ、数年毎に世界のどこかで観測される皆既日食を追い続ける『日食病』の人が増えている」と付け加えた。

尾久土教授の教え子で龍郷町出身の川元さんは、今年8月にロシアのシベリアで観測した皆既日食を「言葉にできないくらい感動的でした。地元ボランティアの真心もうれしく、日食がなくてもまた行きたいと思えます」と興奮冷めやらぬ様子で

話した。

また、尾久土教授は来年の皆既日食に向けて「皆既日食ファンは見終えると次の皆既日食に心が移る。安易な投資や金もうけはせずに地域の文化や自然をアピールし、一般の観光リピーターを獲得することが重要。イベントなどで知り合う人的ネットワークも財産となる。当日のイベントは全員ソワソワしているので不向き、シマのきれいな空を活かし前夜祭として『星を見るイベント』を実施し、当日を『皆既日食を見るための休日』にする条例を制定しては。一生に一度（日本では27年後、奄美では約300年後）しかないことなので、まずは自分が楽しむこと」と提言した。



月の影に入る感動



月の影に入る感動

月に完全にかくれる瞬間（右）と、再び太陽の一部が現れる瞬間（左）は、想像を絶する美しさという

喜界歌壇

赤あかと回りゆく盆燈籠に後生
を生きし夫の顕ちくる

林 蓮香

読経する父のみ声を聞て聞く
幼き日の懐かしきかな

北島 シナ

機織るをやめて八十路の坂登る
このごろ思ふ永き現世

有村 道子

盆近く茂る雑草刈り取られ墓前
明るく夏菊の咲く

平尾 チヨ

朝夕に吾の仕草をみつめてさ
さえくれし人みな菩薩なり

屋良ミノ子

お盆用の小豆もやしにうやうや
しくかける大きなくわす芋の葉

美代 イシ

追憶の星空遠く去り行けど七夕
の想い今も脈打つ

郡 市子

幾千の風乗り来たるあさぎまだ
ら盃蘭盆近き我が庭に舞ふ

弥島 幸子

七夕の短冊しるすサミットの外
つ国人ら笑顔もみえて

武田 幸子

胸うちに杳き日よぎる七夕の集
いの笹のひそかふれ合う

嶺倉 祝子

戸籍の窓

こんにちは 赤ちゃん

氏名	保護者	住所
狩俣 晴紀	米克	赤連
淵脇 碧	拓也	中里
大岡 洲也	進也	中里
福山 時人	至	志戸桶
向井 優賀	大吾	中里

いつまでも お幸せに

氏名	住所
豊田 健治	羽里
清水 真琴	羽湾
西 英範	赤連
西山 智恵	羽里

ごめい福を お祈りします

住所	氏名	年齢
大朝戸 興	廣子	65才
城久 宮	廣一	71才
上嘉鉄	富原利二郎	65才
佐手久	榮正一郎	93才
浦原	近ナベ	99才
赤連	平サチ子	84才
荒木	川島一雄	89才
小野津	貴島梅	97才

社協だより

■香典返し(敬称略)

大朝戸 興	信二
赤連 栄	園子
大朝戸 衛守	三吉
佐手久 栄	幸
赤連 平馬	博一
(鹿児島市在住)	茂子

喜界町の推計人口

(平成20年9月1日現在)

世帯数	3,760戸 (-12)
人口	8,253人 (-6)
男	3,929人 (2)
女	4,324人 (-8)

2009年7月22日
一生に一度の皆既日食まで

あと **285** 日

(2008年10月10日現在)



編集後記

「井の中の蛙大海を知らず」
真の国際交流とは「相手国の文化を理解・尊重し、自国の文化を深く知ることである」といわれる。

地方のさらに地方に住む私は、ともすれば都会のものはシマのものより無条件で優れているかと思いがちであり、「シマデー」のものを過小評価するきらいがあった。

全国的にみても多くの地方は、農業でも観光でも何でも都会に迎合し、すり寄ろうとする。インターネット時代の到来は、それに拍車をかけているのではないだろうか。

これらは決して間違ったことではない。何かを売り込むときに、相手のニーズを把握しようとするのは当然のことであるし、「井の中の蛙」になるまいと知識を広げることが重要なことであろう。

しかし、私たちは足許に転がっているシマの財産に、もう少し自信と誇りを持つてよいのではないだろうか。

日本中の数え切れない「田舎」や「島」のなかで、喜界島ほど宝物に恵まれたシマはないのだ。うぬぼれでも構わない、われわれがほめないで他の誰がほめるのだろうか。

約十数年前に隆起して生まれた喜界島は、人間でいえば生後数日の赤ちゃんである。

日本一の隆起スピードによる珊瑚の海底は劇的な変化に富み、隆起の島は大きな河川を許さず、海への土砂流出を防ぎ、透明度の高い海水を持たらした。島を覆う表土は、最近まで海底だったために海のミネラル分が豊富で、農作物は美味で栄養価が高い。いたるところに生える野草は薬草ばかりで、その薬効も他の地域よりも高いという。

シマは琉球文化と大和文化の境界線にあり、時代により互いの防波堤の役割もした。歴史教科書を書き換えるかもしれない城久遺跡群がそれを物語り、源平合戦ロマンの残り香がほのかにたただよう。

冒頭の国際交流のたとえではないが、ここでもう一度、世界の、日本のなかの喜界島の足許を見つめ直し、あらゆるものを掘り起こせば、もっとシマを好きになり、シマの魅力が発信でき、受信してもらえるのではないか。

「井の中の蛙大海を知らず」ということわざは中国の故事によるが、島国根性と揶揄される日本人はそれを逆手にとり、次のように付け加えた。「されど空の高さと井の深さを知らず」と。

今月号の取材を通じて、改めて自らのシマへの知識と愛着の足りなさを思い知った次第である。

(植村)

島に

9-10
月

咲く花

トラノオ(虎の尾)

リュウゼツラン科。別名サンセベリア。和名はアツバチトセラン(厚葉千歳蘭)。数年前に、マイナスイオンを放出するとのことでブームになった。花ことばは「達成」。



極楽島花

別名ストレリチア。葉の形で分かるように芭蕉科でありバナナに近い仲間。その葉を翼のように広げて今にも飛び立ちそうである。撮影の時も花がこちらを振り向きそうな気がした。

花ことばは「万能」「全てを手に入れる」「気取った恋」。

パパイヤ(乳木瓜)

広辞苑にはパパイヤではなくパパイヤとある。通常、雌と雄は別の株だが、写真は大変珍しい雌雄同株である。雌花は幹に直接花を付けるが、雄花は長く伸びた枝のようなものの先に房状に咲く(写真の株は雌雄両方の花と実がある)。



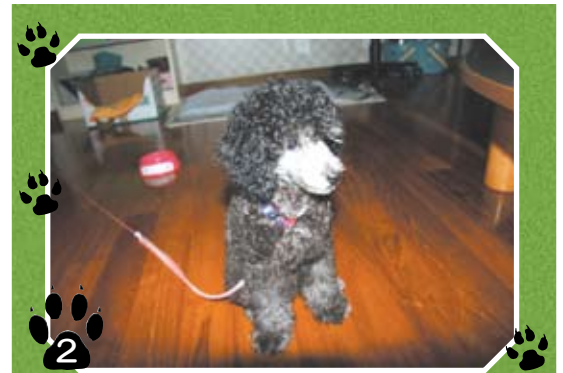
したがって実の雌雄も見分けやすい。一般的には果物として熟したものを食するが、沖縄や東南アジアでは未熟なものを野菜として扱う。シマでも炒めたりするが、やはり漬物物として食する機会が多い。花ことばは不明。



スイフヨウ(酔芙蓉)

野村リツ子さん(前金久)宅のあたりにて。早朝に白い花を咲かせ、昼頃には赤く色づく。このことから、シマでは「ジュウニジバナー」とも呼ばれる。あまり酒類をたしなまなかった野村さんの夫である故野村良二前町長の代わりに、この花が酔って赤ら顔になっているのかもしれない。バツタが仕事にも行かず、ずっとこの花にとどまっていた。その移ろいの美しさに心を奪われたのであろう。

花ことばは「繊細な美」「しとやかな恋人」。



今月の

わんこ

こんげつのわんこ

中澤 ガッシュくん

トイプードル

中里 4ヵ月

「ボクは生まれて1ヵ月で鹿児島からこのお家に仲間入りしました。『ガサーポー サバクララア』なんて怒られるけど、愛嬌を振りまいてすぐに許してもらってます。特技は走り回る事だけど、将来大きくなったら何になるのかな。」
ガッシュより

財産・相続・遺言・土地利用・許認可登録申請の

お手伝いをさせていただきます。

行政書士 神田健一事務所

住所: 喜界町湾555-23

電話: 65-3069 (FAX兼)